



令和2年(2020年)7月28日(火)

公益財団法人広島平和文化センター

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 副館長：大瀬戸

電話：543-6271

担当：橋本

河本一郎さんの遺影が登録されました

1 登録された原爆死没者

原爆投下時、坂村（現在の坂町）の発電所で働いていた河本一郎さん（当時16歳）は、1945年8月7日に広島市内に救援に入り被爆し、全市が壊滅状態になったのを目の当たりにしました。

この惨劇を繰り返してはならないとの思いから、1952年、「原爆1号」と呼ばれた吉川清さんと「原爆被害者の会」を結成。白血病で亡くなった佐々木偵子さんの死を悼み、「原爆の子の像」の建立を発案し、1958年に「広島折鶴の会」を立ち上げました。

また、急性白血病で16歳の生涯を閉じた楮山ヒロ子さんが、命を閉じる前年の1959年8月6日の日記に、「あのいたいたしい産業奨励館だけがいつまでもおそろげん爆を世にうたえてくれるだろうか。」（部分、原文のまま）と記していたことに心を打たれ、「広島折鶴の会」が中心となり、現在の原爆ドームの保存を求める運動に取り組むなど、地道な平和活動を続けました。

2 遺影の提供者

黒瀬真一郎氏（河本一郎さんの元同僚・後見人）

3 遺影の提供について

登録された遺影をデータ（JPEG）にて提供できます。

提供者：国立広島原爆死没者追悼平和祈念館





河本 一郎 (1929-2001)